令和6年度老人保健健康増進等事業

福祉用具サービスの適切なPDCAの実現に向けた調査研究事業

エム・アール・アイリサーチアソシエーツ株式会社

1. 事業実施目的

福祉用具サービスの質の向上を図る観点から、福祉用具専門相談員のサービス提供におけるPDCA各場面での実施内容や多職種連携のポイント等を整理し、福祉用具専門相談員による福祉用具サービスのPDCAを実践するための手引きとして取りまとめた。

2. 事業の概要

(1) 検討委員会の設置・開催

有識者で構成する検討委員会（委員8名）を設置し、事業期間内に4回開催した。

(2) 文献調査による取組事例の収集

福祉用具専門相談員がPDCAを実践する上での工夫や課題等、研究論文や調査事業報告書の内容を整理した。

(3) 事例収集調査（ヒアリング調査）の実施

福祉用具サービス提供におけるPDCAの各場面での実践状況等を把握することを目的に、福祉用具専門相談員および介護支援専門員に対するヒアリング調査を行った。

(4) モデル的試行の実施

本事業で作成する手引きを参考に、実際の現場での試行を行い、不足する情報等を補い、手引きの内容を拡充した。

(5) 手引きの作成

福祉用具専門相談員による福祉用具サービス提供におけるポイント等を取りまとめた手引きを作成した。

(7) 報告書の作成

以上の検討結果を報告書としてまとめた。

3. 事業結果の概要

文献調査では、福祉用具サービス提供におけるPDCAの各場面での福祉用具専門相談員の役割や利用者の状態像を踏まえた福祉用具の選定、安全利用に向けた留意点等に関する参考事例を確認することができたが、福祉用具専門相談員が実施するサービス提供のPDCAの一連の取組や、その一連の取組のなかで必要とされる多職種連携のポイントなどが纏められたものはなかった。本事業を通じて把握した福祉用具サービス提供場面での実践事例等を含むPDCAの一連の取組を整理した手引きを作成した。本手引きについては、モデル的試行も行い、指導場面や自身の業務の振り返りなど幅広く活用できることも検証できた。